

## わがまま薬剤師の“かかりつけじゃない”薬局

第186号では「かかりつけ薬剤師」と「かかりつけ薬局」について話題を書きましたが、今回は「じゃない薬剤師」について・・・

### 1) わがまま薬剤師の“かかりつけじゃない”薬局のミッション&ポリシー

私も六十を過ぎて今更、薬局を経営しようとは思いませんが、経営するとしたら自分の体調も考えて次のような薬局を経営しましょうか。

#### 1. 自分の気に入った患者しか受け付けない。気に入くない患者は追い返す。

- ・自分の気に入った患者しか相手にしませんから、時間内という制限付きですが、かかりつけ薬剤師以上のフォローをしましょうか
- ・私のポリシーに従わない患者は追い返すのが基本ですが、一応他の薬局を紹介しましょう。

#### 2. 完全予約制にして一人あたり60分間、午前3人、午後4人しかみない。

- ・絶対に調剤過誤を起こさないために一人あたりに十分な時間を設定するため60分が妥当と判断しています。また経費節減でレセコンも導入しないので手計算に必要な時間も確保します。
- ・完全予約制なので途中での割り込み患者の受付はお断りします。例外として前日の薬不足の患者には対応しましょう。
- ・薬局にこもりきりになるので患者宅への訪問指導や薬の配達はお断りします。

#### 3. 土日祝日は完全休業。時間外対応は一切せず。臨時休業は当たり前。

- ・なにせ病気持ちの年寄りなのと余暇を充実させたいため。初回の場合はほぼ薬が無いので、翌日以降にとりにきてもらうようにします。それが嫌な患者は他の薬局に行ってもらいましょう。

#### 4. 調剤業務に特化して、他の物品は置かない。

- ・OTC医薬品、健康食品や医療用品は販売が見込めず、劣化、廃棄が落ちなので置きません。

### 2) 収入はいかほどになるか？

上記のような経営方針では調剤料はいかほどになるか大雑把な計算をしてみましょう。

#### ①調剤基本料：41点

隣接する医療機関もなく処方箋枚数も極端に少ないため**基本料1が算定**できるでしょう。時間外や休日にはしっかり休みますから「**かかりつけ薬局機能**」は果たしていませんから、本来なら41点の半分の算定になりますが、**受付回数が月600回以下ですから例外適用**になります。ラッキーといわざるを得ないでしょう。

#### ②基準調剤加算：0点

かかりつけ薬局機能を評価した加算で、その中の24時間対応にはする気もありませんから絶対に算定できません。

### ③後発医薬品調剤体制加算：22点

私の言いなりにならない患者は相手にしないので後発薬切替率を75%にできるとしましょう。

### ④薬歴管理指導料：38点

手帳を忘れた人には50点という正規の算定をします。気に入った患者しか相手にしませんから、かかりつけ薬剤師に負けにくい程度の服薬指導はやりましょう。

### ⑤調剤料：200点/処方箋1枚 とりあえずの概算値

### ⑥薬剤料：700点/処方箋1枚 とりあえずの概算値

以上で1枚の処方せんあたり1,001点となりました。

薬の値段は価格交渉である程度値引きがきくのですが、あまりの個人営業ですから薬価差益はみこめないとすると、**技術料部分のみがわが薬局の利益分**になるでしょう。

つまり**1枚あたり301点(3010円)の粗利益**になります。

1カ月の患者数は大体150人になりますから**1ヶ月約45万円の粗利益**になります。

薬局運用ガイドラインに抵触するため、それがどう評価されるかが問題としては残ります。

## 3) 支出はいかほどになるでしょう？

### ①薬局の大きさ：薬機法(旧薬事法)の附帯規則で定められています。

店舗の面積は19.8㎡以上(約12畳)と決められており、そのうちの調剤室が6.6㎡以上(約4畳)になります。我が薬局は完全予約制ですから調剤室を6畳、受付・待合室を6畳にしておきましょう。

### ②調剤機器類、各種備品、改装工事の費用

収入はすくないのでできるだけ借金をせずにそろえたいものです。しかし散剤自動分包機は最低必要で、それも錠剤も分包できるタイプがいるでしょう。最低限の見積で、かつ改装工事も5年リースにしたとして次のようになります。

錠剤と外用薬と散剤の調剤棚2台	100万円(集塵機付きの調剤台は一気に高くなるので無理)
錠付き散剤自動分包機1台	300万円(調剤機器はいずれも高いので値切って)
待合室など設備・備品	100万円
改装工事	100万円(この部分はさらに高くなる可能性あり)
<b>合計</b>	<b>600万円</b>

5年間の1.8%のリース利率として**月額108,000円(税込116,640円)**

### ③その他必要経費

家賃 5万円(場所によりますが、12畳程度の広さとして)

諸経費 10万円(水光熱費、通信費、消耗品など)

薬品購入費 これは卸との契約で2カ月待ってもらうか、銀行からある程度借りるか・・・  
計算上は差引ゼロ円とする

### ④支出の合計： 約27万円(甘々の試算として)

## 4) 結局、我がまま薬局は経営できるのか

**純利益(人件費のぞく) = 粗利益 - 支出 = 45万円 - 27万円 = 18万円/月**

これに年金をプラスしていけば私という老人一人の生活を支えつつ、**勝手きままな薬局経営**はできそうです(おや、女房はどうなった?!)。人を雇ったらすぐに潰れてしまう薬局ですね。